

製品化事例

受託研究
技術相談

支援先

荒田陶房, 浜中陶房,
益子淳一氏 (陶芸家)

製作技術指導による笠間焼の製品化支援



図1 ロクロ成形技術指導風景

【支援の背景】

笠間陶芸大学校では、笠間焼の人材を育てるだけでなく、陶磁器に関する研究開発や、笠間焼業界の技術支援も行っています。これまでに、笠間焼の成形技術や釉薬技術、焼成条件等に関する技術的な相談を受け、当校職員が技術支援を行うことで窯元や陶芸家の製作活動を数多く支援してきました。

【支援の内容】

相談内容に応じて技術指導等を行っております。

(支援例①)

荒田陶房より、個性的なデザイン性を加味した日用陶磁器製品を制作したいとの相談があり、ロクロ成形技術の習得についての相談を受けました。これに対して当校では、ロクロの基礎技術、道具作り・成形・削り・乾燥管理・急須の組立方法といったロクロ成形技術の指導を行い支援しました(図1)。

(支援例②)

浜中陶房は新進気鋭の陶芸家による陶磁器工房です。独立準備段階であった浜中陶房より、本格的な活動開始に向けて、流動性が大きく、下絵が程よくにじむ、染付に用いる透明感の強い釉を開発したいとの相談を受けました。これに対して当校では、釉薬原料の選択や配合比、施釉方法、焼成条件など、釉薬開発のための試験や試作について提案や情報提供を行い支援しました。

(支援例③)

陶芸家である益子淳一氏より、製品製造において生産効率を向上させるため、数種類の釉薬をかけた特徴の異なる製品を同時に焼成し、それぞれに意図した色味に仕上げたいという相談を受けました。これに対して当校では、釉薬配合及びガス窯焼成技術について5回にわたり実地指導を行い支援しました。

【支援した製品の紹介】

当校の技術支援の結果、令和元年度に製品化された製品を紹介します(図2, 3, 4)。



図2 急須(支援例①)



図3 染付陶器(支援例②)



図4 24cm カレー皿(支援例③)

価格: 3,400 円/枚

販売店: アートスペース油亀(Web 販売)

<http://aburakame.ocnk.net/>

基礎となった事業

平成 30 年度 オンリーワン技術開発支援事業 (受託研究)
平成 29, 30 年度, 令和元年度 試験研究指導費 (技術相談)

現在の担当グループ

陶芸人材 G

グループ長
主任研究員

嘱 託

窯業技術 G

グループ長

首席研究員

主任研究員

技 師

嘱 託

尾形 尚子

常世田 茂

根本 達志

寺門 秀人

小島 均

吉田 博和

曾我部 雄二

新島 佐知子

TEL: 0296-72-0316